

# おばなざわ 市議会だより



## 雪に克つ！ 雪山簡便冷房システム

豪雪地尾花沢だからこそ可能な保護シートをかぶせるだけの、世界でも珍しい雪山簡便冷房システム。今年約3000㎡の融雪水の冷熱を利用した涼しい風が、議場や議会棟にも流れる予定。

**81号**  
平成26年4月15日発行

(2014.04.02 AM8:45 尾花沢市役所庁舎前)

### 3月定例会

- 予算の審議・・・2
- 1月臨時会・・・4
- 予算特別委員会・・・5
- 議案の審議・・・7
- 一般質問・・・8
- 分科会委員長報告・・・15
- 広域組合議会報告・・・16
- 私のひとこと・・・18

## 私のひとこと



### 「間伐材で晩酌を」

三日町 田村和雄

先日の部落役員会で、市農林課から常盤地区里山林整備事業の説明があり、熊や猿などの野生動物被害の対策を講じて、小中学校や保育園の安全を確保することが事業目的の一つとのことでした。また猿退治の花火は今や通称せず、猿が一番警戒するのはやはり人ではないかとの話も出ました。以前は、炭焼きや山仕事で常に人が入っており、山もきれいに整備されていたため、野生動物も容易に近づけなかったものと思われ

ますが、現在は、放置されたままの山林が目立ってきております。本来、間伐を行わなければならぬ人工林が、木材需要の低迷から昭和50年をピークに林業生産活動は停滞してきているようです。その様な中、昨年の8月、山新に掲載された西川町の新規事業「軽トラ林業支援」の記事に興味を持ち、地区内の区長さん方と相談して、「常盤地区市長と語る会」の話題に取り上げて頂きました。この事業は、地元の製材協同組合と連携して、町内の加盟店で使える商品券で間伐材を買い取る制度で、まさに、自分の山から切り出した間伐材を軽トラで運搬し、小遣いを得るといって、小規模だが容易で継続性のある取り組みとなっております。里山整備と林業の活性化につながるものと期待されています。間伐材の活用については、今、再生可能エネルギーの固定価格買い取り制度（FIT）をきっかけに、全国で木質バイオマス発電所の建設ラッシュが起きており、大量の木材チップを燃料に使ったため、今まで山に捨てられていた間伐材や枝木が人気者に変貌するのもしつと遠くないと言われていています。また、価格が高止まりしている灯油などの化石燃料から、コストも安く自然に優しいペレットストーブに切り替える家庭も増えることが予想されることから、尾花沢市としても木質チップやペレット加工工場の誘致を、積極的に進めるべきだと思えます。尾花沢市には、かなりの面積の人工林があり、個人の山にとどまらず、長伐期施業に方針転換している公社造林も多く存在していますので、今や間伐材などのC材（未利用残材）調達の宝庫と言っても過言ではないと思います。「間伐材で晩酌を」を合言葉に、年輩者がやりがいをもって持ち山を手入れすることで、山林を守りながら自然エネルギーを活用できるという相乗効果が発揮される仕組みを、是非、構築していただきたいと思えます。

## 人のうごき

### 議会事務局人事

議会事務局の職員が4月1日より次のようになり変わります。

#### ◎転出

- 議事主査 吉野 真広（企画課へ）
- 庶務係主任 高橋 里美（市民税務課へ）

#### ◎転入

- 議事主査 斎藤 健司（健康福祉課より）
- 庶務係主事 菅野 真紀（市民税務課より）

尾花沢市議会  
インターネット中継  
市のホームページからアクセスできます  
www.city.obanazawa.yamagata.jp

発行／山形県尾花沢市議会

編集／市議会だより編集委員会

## あとがき

3年続いた大雪も今シーズンは、いくぶん少なかったように感じられました。それでも平年と比べ多い降雪であったようです。今年も、長い冬から目覚め、暖かい春の訪れを感じます。恵みの多い年であり、ますます願いたい気持ちでいっぱいです。市議会だよりは81回目の発行ですが、市民の皆様読んでいただくよう努めています。皆様のご意見をお待ちしています。（五十嵐佳満）

### 市議会だより編集委員

- ◎塩原未知子
- ◎青野 隆一
- 菅野 修一
- 五十嵐佳満
- 大類 好彦
- 武田 佳久
- 星川 睦子
- ◎委員長
- ◎副委員長

# 市庁舎改築

# 始動！

## 新庁舎建設基本設計業務委託料

耐震診断の結果、補強は困難と判断された市役所庁舎が平成28年度改築着工に向けて動き出します。市民や各団体の代表らが、庁舎規模・財源などの議論を重ね、9月までに建設基本計画を策定します。

## 元気おばね「絆」駅伝大会

24区間(38.8km)を競う福原、本町、宮沢、玉野、常盤地区対抗市内一周駅伝が行われます。

日時 平成26年6月29日(日) 9:30スタート  
 コース サルナート⇒荻袋⇒野黒沢⇒西原⇒寺内⇒和合⇒正巖⇒中島⇒鶴巻田⇒下柳渡戸⇒六沢⇒三日町⇒九日町⇒古殿⇒サルナート



## 再生可能エネルギー設備導入事業

設備名	山形県	尾花沢市
太陽光発電設備	1kw当たり3万円(10kw未満)	1kw当たり3万円(上限12万円)
木質バイオマス(ペレット・薪ストーブ等)	1/3(上限10万円)	1/6(上限10万円)
太陽熱利用装置	1/10(上限5万円)	1/10(上限5万円)
地中熱利用空調装置	1/10(上限20万円)	1/10(上限10万円)
雪氷熱利用設備	なし	1/5(上限20万円)

※県と市の両方から補助されます。

## 休日一時預かり保育

今年6月から日曜祝祭日に、ABESAで市内に住む満1歳～6歳の未就学児の休日一時預かり保育を実施します。

預り時間 午前9時～12時  
 午後1時～4時  
 定員 午前午後各5名

## H26年度の主な新しい事業

防災行政無線実施設計委託料	1800万円
旧寺内保育園駐車場整備事業	450万円
中央駐車場街路灯LED化事業	268万円
救急医療情報キット全世帯配布	173万円
東光館駐車場等整備事業工事費	2000万円
市元気の農業支援事業補助金	1050万円
徳良湖温泉「花笠の湯」指定管理料	432万円
企業対策専門委員報酬	240万円
道路台帳整備業務委託料	360万円
長根山庄雪車購入費	2700万円



ABESA

## 自治会活動保険加入補助金

区長が代表となる各集落の主催行事に参加して、①集落の祭りで飾りが落下し通行人がケガ②河川の草刈中草刈り機で足をケガ③運動会で転んでケガ④回覧板を配布中に転倒して骨折などを補償する保険掛金の3割を補助します。

補償金	入院補償	5,000円/日
	通院補償	2,500円/日



市民税務課前に設置のペレットストーブ

## 居住空間無雪化支援事業

克雪住宅建設等助成事業	◆一般世帯は対象事業費の20%以内(30万円限度) ◆要援護者世帯は事業費の30%以内(40万円限度) ◆融雪設備で再生可能エネルギーを主熱源とした場合は対象事業費の5%(限度額10万円)を加算
①融雪式住宅(屋根融雪・熱利用)	
②高床式住宅(基礎部1.5m超等)	
耐雪式住宅(2.5m以上積雪荷重)	◆融雪設備で再生可能エネルギーを主熱源とした場合は対象事業費の5%(限度額10万円)を加算
消融雪装置設置助成事業	
①住宅敷地内消融雪設備	
②除雪機械	購入価格の10%以内(5万円限度)

3月定例会が3月4日に開会し、平成26年度一般会計予算などの議案について、一般質問や総括質疑を行うとともに、予算特別委員会を設置して慎重審査を行いました。その結果、いづれも原案の通り可決し、3月18日に閉会しました。一般会計予算の総額は、8年ぶりに100億円を超え、定住促進や経済対策、少子高齢化、豪雪など市が直面する課題についての主な新規事業を紹介いたします。

一般会計  
 特別会計

100億8千3百万円  
 56億9千9百万円

を  
 可決

平成26年1月27日に臨時議会が開催され、平成25年度尾花沢市一般会計補正予算（第7号）などの8議案が上程された。議第2号「尾花沢市特別職の職員給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」次のような質疑応答があった。

**Q** 市長が公表していた給与の減額10%2ヶ月間から、減額20%任期いっぱいに変えたのはなぜか。

**A** 市民や議会からの意見も賜り、また、ことの重大性を勘案し、今回の提案となった。

**Q** 市民からは、疑念の声がたくさん聞かれる。市民に対して本当に公正で適切な採用をしていることを示すような資料を開示できないか。

**A** 個人に関する情報で、特定の個人が識別されるおそれがある場合は、原則公開できない。

**Q** 母親が逮捕、副市長の辞任、幹部職員の処分という大きな犠牲によって、市長の名誉がどう回復されたのか。

**A** 名誉回復という点では、司法によって事実無根ということが証明された。職員の採用に関しても正規の手続きで採用されたということ、職員の名誉も回復すると捉えている。

**Q** 職務命令が法令違反であったとすれば、その命令を行った副市長を処分すべきではないか。従った職員に、なぜ、減俸という生涯背負う重罰を選択したのかどうしても納得ができない。

**A** 厳正な審議をして結果を出した職員審査

**Q** 消防団・婦人防火協力班など高齢化で組織編成が厳しい状況であるが継続のために支援の拡大はどうか。

**A** 県内でも伝統ある婦人防火協力班の活動については、地域の防犯、防災活動にはなくてはならない組織であり、今後とも体制づくりに努力していく。

**Q** 高齢者コミュニケーションセンター・銀嶺荘は閉鎖されたままになっているが、銀山温泉組合との協議は行われた結果の予算か。

**A** 銀嶺荘は去年4月から休館している。銀山温泉組合は、源泉組合と温泉組合がある。銀嶺荘は、災害時の指定避難所として市が管理している。また、今後の温泉としての利用について協議していきたい。

**Q** 新町東町内会の東光園及び社会福祉協議

**Q** 個人に関する情報で、特定の個人が識別されるおそれがある場合は、原則公開できない。

**Q** マスコミに発言した、男女間比率とか地域間バランスというのは、一体どこで誰が判断するのか、市長が判断しなければ、市長は採用試験に何も責任を持たないことにならないか。

**A** この規程のままでは、男女間などのバランスが全然生かされないため、今後規程の見直しも必要と考えている。

**Q** 市長は、最高責任者として、その責任を部下に転嫁するような発言が見受けられた。このようなことは、不適切との批判の声をどう考えるか。

**A** 私は職員選定作業には一切タッチしないで、選定委員の結果を受けて最終判断で決裁

委員会の判断を重く受け止めた上で、私が決定したということご理解いただきたい。

**Q** 平成24年12月定例会で請願書が採択された件で、社会福祉協議会駐車場はかねてより狭く苦慮していたところである。

**A** 平成26年度事業は駐車場30台分、多目的広場は千3百50㎡、さらに冬期は施設の雪置き場としても利用できることになる。

**Q** 子宮頸がんワクチン予防接種は、全国で副作用も発生し、悲惨な生活を送る女性もいるとのこと。どのような方針で進めるのか。

**A** 昨年、国では積極的な勧奨ではなく要望する保護者に対して適切な対応を取るようにと方針を変えている。今後においては国の動向を見ながら、保護者の方々に適切に連絡をしていきたい。

**Q** 森林資源の利活用と再生可能エネルギーの活用並びに庁舎建設に木材を利用する検討はされているか。

**A** 本市の7割が森林の再生・利活用を含めて出口を探っていく。また関係機関及び庁内で十分な検討をしていきたい。

**Q** ふるさと応援基金の申し込み状況は、1万円が93%を占めている。パッケージ商品を送ることは大変良いことであるので今後検討したい。

**Q** 国道37号の通年通行に関して、沿線は大変危険な状況にあり、

をするという方法をとってきた経緯がある。今後、誤解を招かないように説明をしっかりと果たしていきたい。

**Q** 現在の規程について附帯事項を付けるなど、尾花沢市に馴染むような見直しを提案したい。

**A** 緊急動議（注2）全議案が原案のとおり決した後、加藤克彦議員から動議が提出され、「公文書偽造の調査に関する決議案」が議事日程に追加された。「公文書偽造と職員審査委員会に対し、百条特別委員会（注3）を設置し調査すべき」と提案理由が述べられ、採決の結果起立少数で否決された。

**Q** 森林資源の利活用と再生可能エネルギーの活用並びに庁舎建設に木材を利用する検討はされているか。

**A** 本市の7割が森林の再生・利活用を含めて出口を探っていく。また関係機関及び庁内で十分な検討をしていきたい。

**Q** ふるさと応援基金の申し込み状況は、1万円が93%を占めている。パッケージ商品を送ることは大変良いことであるので今後検討したい。

**Q** 国道37号の通年通行に関して、沿線は大変危険な状況にあり、



ブナ林道

建設についてはぜひ尾花沢市にと強く要望した。

**Q** ふるさと応援基金の申し込み状況は、1万円が93%を占めている。パッケージ商品を送ることは大変良いことであるので今後検討したい。

**A** 平成26年度で基本設計、27年度には実施設計を行い、28年度の早い時期に着工したい。

**Q** 新庁舎建設スケジュールの推進体制と基本計画の構想はどのようにすすめるのか。

**A** 平成26年度で基本設計、27年度には実施設計を行い、28年度の早い時期に着工したい。

**Q** 国道37号の通年通行に関して、沿線は大変危険な状況にあり、

平成25年度  
特別交付税  
決定!  
総額7億8千849万3千円となる

平成25年度地方交付税のうち特別交付税額が、3月定例会の最終日の18日に国から決定通知を受けた。総額7億8千849万3千円は翌19日に入金された。

今年も2月10日に豪雪対策本部が設置され、市民生活の安全確保のため、除排雪には万全を期してきた。市議会としても、2月中旬に

県選出国会議員や、関係省庁を訪ね、除排雪等の財源確保のため、特別交付税の要求額8億円達成を目指し、強く要望活動を行って来たところである。

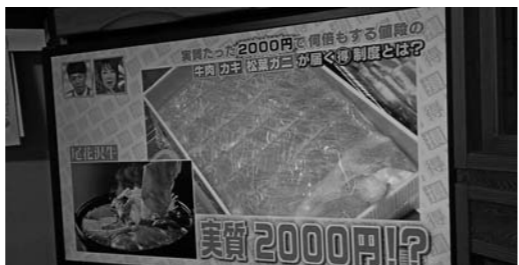
特別交付税の使途については、ある程度自治体の裁量によって予算化できるため、大変有効なる財源と喜んでいる。

【用語解説】

注2) 緊急動議：会議で、予定外の議事を緊急の議題として取り上げるように求める提案。  
注3) 百条委員会：地方公共団体の事務に関する調査を行い、関係者への聞き取りや記録の提出を請求、拒否した者には罰則が科せられる。名称は「地方自治法第100条」に基づく地方自治体が議決により設置する特別委員会の一つ。



九州からゆるキャラ「くまもん」もかけつけてくれました!



尾花沢人が人気！TVで放送

# 予算特別委員会

## 各委員からの質問

**Q** 消防団・婦人防火協力班など高齢化で組織編成が厳しい状況であるが継続のために支援の拡大はどうか。

**Q** 森林資源の利活用と再生可能エネルギーの活用並びに庁舎建設に木材を利用する検討はされているか。

**Q** ふるさと応援基金の申し込み状況は、1万円が93%を占めている。パッケージ商品を送ることは大変良いことであるので今後検討したい。

**Q** 国道37号の通年通行に関して、沿線は大変危険な状況にあり、

**Q** 国道37号の通年通行に関して、沿線は大変危険な状況にあり、

○：賛成 ×：採決で起立しない議員

## 1 月臨時会賛否状況

番号	案件名	表決の結果	小関英子	星川睦子	塩原未知子	石塚ミツ子	青野隆一	奥山格	五十嵐佳満	菅野修一	武田佳久	大類好彦	須貝孝	伊藤精一	鈴木敏正	加藤克彦	菅根光雄	大類準一
承第1号	平成25年度尾花沢市一般会計補正予算(第6号)の専決処分の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第1号	平成25年度尾花沢市一般会計補正予算(第7号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第2号	尾花沢市特別職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第3号	尾花沢市保育所設置条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第4号	尾花沢市介護保険条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第5号	尾花沢市後期高齢者医療に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第6号	消費税率及び地方消費税率の改定に伴う関係条例の整備に関する条例の設定について	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第8号	市有財産の無償譲渡について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
公文書偽造の調査に関する決議案		原案否決	×	×	○	○	×	×	×	×	○	○	×	×	○	×	×	×

## 3 月定例会賛否状況

番号	案件名	表決の結果	小関英子	星川睦子	塩原未知子	石塚ミツ子	青野隆一	奥山格	五十嵐佳満	菅野修一	武田佳久	大類好彦	須貝孝	伊藤精一	鈴木敏正	加藤克彦	菅根光雄	大類準一
承第2号	平成25年度尾花沢市一般会計補正予算(第8号)の専決処分の承認について	原案承認	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第9号	平成25年度尾花沢市一般会計補正予算(第9号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第10号	平成25年度尾花沢市国民健康保険特別会計補正予算(第5号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第11号	平成25年度尾花沢市簡易水道特別会計補正予算(第2号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第12号	平成25年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第13号	平成25年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計補正予算(第1号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第14号	平成25年度尾花沢市介護保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第15号	平成25年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計補正予算(第3号)	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第16号	平成26年度尾花沢市一般会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第17号	平成26年度尾花沢市国民健康保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第18号	平成26年度尾花沢市簡易水道特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第19号	平成26年度尾花沢市国営村山北部土地改良事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第20号	平成26年度尾花沢市農業集落排水事業特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第21号	平成26年度尾花沢市介護保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第22号	平成26年度尾花沢市後期高齢者医療保険特別会計予算	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第23号	尾花沢市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第24号	尾花沢市一般職の職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第25号	尾花沢市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第26号	尾花沢市社会教育条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第27号	尾花沢市高齢者やすらぎ条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第28号	尾花沢市道路占用料徴収条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第29号	尾花沢市市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第31号	尾花沢市の定年前に退職する意思を有する職員の募集及び認定等に関する条例の設定について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第32号	尾花沢市過疎地域自立促進計画の一部変更について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第33号	尾花沢市徳良湖温泉施設の指定管理者の指定について	原案可決	○	×	○	×	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議第34号	市道路線の認定及び廃止について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
議案第1号	労働者保護ルールの改悪に反対を求める意見書の提出について	原案可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成25年請願第11号(継続審査)	主要地方道尾花沢最上線市野々地区道路改良工事の整備促進に関する請願 市野々区長 押切 栄一	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年請願第1号	特定秘密保護法の廃止を求める意見書を求める請願 北村山地区平和センター議長 結城 正	継続審査	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成26年請願第2号	労働者保護ルール改悪反対を求める請願 連合山形北西村山地区協議会議長 奥山 純二	採 択	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※議長には表決権はありません。ただし、賛成反対が、同数の場合、可決か否決か決定することができる採決権が認められています。

バイパス化すべきであると思つがどのような考えでいるのか伺いたい。

**A** 冬期間の豪雪時には危険な状況にあり、母袋地区の語る会や玉野地区の行政懇話会でも通年通行の安全対策や危険なカーブ、局部改修、通学歩道の確保など要望が出されている。

県は、まずは通年通行を見た上で検討するとしており、また市としてもバイパス化が良いか、局部改良が良いか地元地区の皆さんと十分な話し合いをすすめながら、県に要請していきたいと考えている。

**Q** ハザードマップ作製について昨年度9月定例会でも取り上げたが、新年度予算で、取り組む予定はあるか。  
**A** 洪水ハザードマップは国や県が定めた浸水想定区域は水防法に

基づき市町村が防災計画においてインターネットなどで住民に提供するようになっている。現在、毒沢地区、芦沢地区はホームページに掲載されている。隴気川と野尻川水系については、作成してないが経過があり、平成26年度中に調査を進めていきたい。



花笠の湯

**Q** 花笠の湯で発生した、ノロウイルス問題についての今後のハード面とソフト面での対策はどうか。また、平成26年度から5年間、非公募で株ふるさと振興公社に指定管理を契約するが、市も運営に責任をもつべきと思うがどうか。

**A** 食中毒の対応は、従業員専用のトイレ、食器棚の区分け、保管用の保管庫、倉庫などについて公社と協議している。運営についても、随時公社と協議をしていく。

**Q** 加藤市長が力説している居住空間の無雪化事業とは何か。また、文化体育施設、徳良湖の再生可能エネルギーについて具体的なイメージがわからない。実用化ができるのか。

**A** 流雪溝整備の要望が一番多く、整備するには、まず水の問題や水利権を解決する必要がある。これが解決した区域から随時すすめることになる。当市も高齢化が進み、スノーダンプで重いグレーチングを開け、流雪溝に投雪することは重労働になっている。このことから時間はかかるが

再生可能エネルギーを利用しながら居住空間の無雪化事業を立ち上げたものである。

**Q** バスの使用料が昨年度の半分になっているが、その内訳はどうか。また、財政は厳しい中であるがバス使用料を全線無料化にしてはどうか。

**A** バスの使用料が昨年度の半分になっているのは、4月から小学生のバス無料化が理由である。また全線無料化については、市内から各地区へ放射線状に路線が走っていることから、今後、デマンド化(注1)も含め考えていきたい。

**Q** 平成26年度の、I T関係の予算を積み上げると全体の金額はどのくらいになるのか。また、業務委託先を市内業者にしていく件数は何件あるか。  
**A** 26年度の委託・賃

借料は7千664万円で、昨年度と比べ5百万円ぐらいの増となっている。この中には、新たに税のマイナンバー制のシステム改修に800万円が入っている。

**Q** 防災行政無線の調査設計の内容と大石田消防分署建設計画の今後の予定について伺いたい。

**A** 平成26年度に調査設計、27年度に工事の予定で進めている。市役所に操作台、消防署に遠隔操作器の予定。屋外拡声器は聞こえる範囲が地形により300〜500mであり市内に90台が必要。そのほか個別受信機として、指定避難所、老健施設、公民館など50台ほどと考えている。停電を想定し、屋外拡声器にバッテリー設置の計画である。

### 【用語解説】

注1) デマンド型交通：正式には DRT(Demand Responsive Transport)需要応答型交通システムと呼ばれ、路線バスとタクシーの中間的な位置にある交通機関。事前予約により運行するという特徴があり、運行方式や運行ダイヤ、さらには発着地(OD)の自由度の組み合わせにより、多様な運行形態が存在する。(国土交通省資料より)



尾花沢消防署通信指令室

大石田分署建設計画については、今後協議したい。

### 新農政に対する本市の対応について



伊藤 精一議員

**Q** 新農政について次の各点を問う

1. 農地中間管理機構創設の進捗状況について
2. 米の直接支払制度が半額に減額されたが、差額補てん対策をどのように考えているか。
3. 飼料用米の補償が面積払いから数量払いに変わったが、全量買上げは可能か。
4. 担い手確保についてどう考えているか。

**A** 1. 農地中間管理機構創設の進捗状況については、米の直接支払制度が半額に減額されたが、差額補てん対策をどのように考えているか。

業団地の企業に対して、市内企業の受注開拓にむけた情報収集やアドバイスをお願いする。

2. 半減した分は産地交付金の拡充や多面的機能支払の創設などに振り替えたと説明を受けている。新たな活動組織化を図り制度活用に向けて積極的に推進する。

2. 企業懇談会や商工会とも連携を図り、企業視察や講演会などを実施し、経営改善を図るための取り組みを行っている。今後、企業対策専門員が配置されるので、各種情報を発信していきたい。

3. 生産者と出荷先において販売契約を交わすことが前提である。

**Q** 少子化対策と高齢化対策の重点課題、対策はどのように考えているか。

4. 青年就農給付金制度の活用を図るほか新規就農者の募集、受入れ体制の構築、支援策の制度化を図る。

**A** 少子化対策としてLaLaネットによる結婚相談日の拡充を図り婚活イベントを開催し、カップルが成立している。高齢化対策については「健康おぼね21運動計画」に基づき支援している。健康講座開催など介護予防事業を実施している。

**Q** 企業誘致についてどのような活動を行うのか。

1. 企業対策専門員はどのような活動を行うのか。

2. 既存企業の育成強化についてどのように考えているか。

1. 首都圏や仙台圏の企業を訪問する。また、仙台北部中核工

業団地の企業に対して、市内企業の受注開拓にむけた情報収集やアドバイスをお願いする。

2. 企業懇談会や商工会とも連携を図り、企業視察や講演会などを実施し、経営改善を図るための取り組みを行っている。今後、企業対策専門員が配置されるので、各種情報を発信していきたい。

### 事業の優先順位を決めて進めるべき



須貝 孝議員

**Q** 本市の財政一般について

1. 平成26年度一般会計予算100億8千300万円で、25年度に比べ2億7千500万円増の内訳を伺う。
2. 地方交付税などが国で減少する中、限られた財源なので事業の優先順位を決めて進めるべきと思うどうか。
3. 多くの委託先をもっとひとつひとつ検証して委託料などの算出を望む。
4. 花笠高原一帯の設備や備品などの老朽化が進んでいる。あらたな設備投資が必要かと思

うので、抜本的見直しが必要かと思う。

4. 将来的には抜本的な見直しが必要と考えている。

**A** 1. まず市債について、防災行政無線整備事業1千800万円、道路新設改良事業1億9千300万円、除雪機械購入事業2千万円など、地方債を計上した。また、国庫支出金として、臨時福祉事業に係る補助金5千550万円、道路や住宅に係る社会資本整備総合交付金1億6千655万円と見込んでいる。

**Q** 26年度から国の農業施策が変わるため、市の農業はどう変わるか。所得補償が廃止になるが農家収入はどうか。

2. 元気おぼね21運動計画に掲げた目標を達成するための重点プロジェクト事業をはじめ、防災減災事業や居住空間無雪化対策事業、企業誘致事業などに重点配分した。

**A** 国からは「飼料用米の生産・給与技術マニュアル」が公表されているので、関係機関からの技術指導をお願いしていく。

3. 私立保育園の運営費(委託料)は国の定めた保育単価によって算

**Q** 流雪溝整備の要望は、平成7年度から23件受けている。自然流下が可能な地区を中心に事業促進を図っていく。

出を望む。

**A** 流雪溝整備の要望は、平成7年度から23件受けている。自然流下が可能な地区を中心に事業促進を図っていく。

### 大石田町と合併を再考するべき



塩原未知子議員

**Q** 大石田町と合併が破談になって10年、人口減少する両市町の将来を考え合併を再考する必要はないか。

**A** 大石田町とは下水道や下水道ごみ処理、し尿処理について環境衛生事業組合を設置し、消防事業については委託を受け施設整備に多額の費用を要している。今後は広域化についての検討も必要だが「合併特例法」による優遇措置がない今、合併は考えていない。

休館中である、バイオマスエネルギーを活用するなどの考えはないか。

**Q** 豪雪地尾花沢は昔から雪国ならではの里山文化に優れている。雪国文化を世界に情報発信してはどうか。

**A** 昨年より市民ホール内にペレットストーブを設置し訪れる市民の関心も高い。木質バイオマスエネルギーの導入促進に関しては、市単独の「再生可能エネルギー」設備導入事業費補助金と、県の補助金を充実し、家庭や事業所などへの導入を促進していく。銀嶺荘は給湯停止により、やむを得ず休館にいたったが、現段階で新源泉掘削等の動きもなく、再開のめどはたっていない。木質バイオマスエネルギーや、温泉排湯を利用した地中熱ヒートポンプシステム、ボイラーの廃熱を利用したシステムに加え、

**A** 里山を活かした地域の活性化は大切な課題である。市面積の約7割を占める森林資源、木質バイオマスとして資源量の把握や事業の採算性などを明らかにしながら、産学官民による新エネルギー推進会議の助言・提言を受けて進める。また、豊富な雪がもたらす雪氷熱エネルギーの利活用を推進するため、補助金を充実させ民間における「雪むろ」や「雪冷房装置」の導入を促進していく。

### 新鶴子ダム冬期水利用並びに各地域へ水の導入について



五十嵐佳満議員

**Q** 新鶴子ダムの冬期水利用については、国との交渉がうまく進んでいないのがこれまでの経過である。

**A** 新鶴子ダムの冬期水利用については、国との交渉がうまく進んでいないのがこれまでの経過である。「水はこの地球の宝である。規律ある水利権を守りつつも、人が作った法により不自由な宝になることも、不条理なことと考える。」豊かな水を抱える新鶴子ダムから許される限りの水の量を、尾花沢市・各地域の冬期用水確保に向けて、これまで以上に強力な要請を国並びに関係機関に働きかける必要があると考える。

**A** 新鶴子ダムの冬期の水利用については、豪雪地の本市にとつて永年の課題であることから、これまで、農林水産省や国土交通省などの関係機関に、強力に要望活動を行ってきた。このことから、今年度に入り、冬期間における安定的な事前放流が可能となるよう、議員各位のご尽力もいただきながら、東北農政局をはじめ、村山北部土地改良区など、関

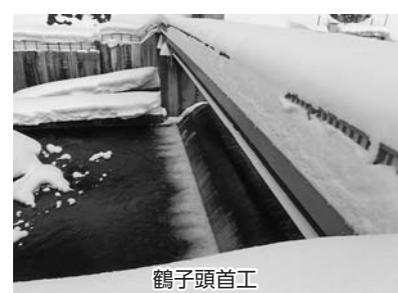
係機関と協議を積み重ねてきた。

**Q** 「夏の水」そして「冬の水」両季節で使用することで日本が誇る「豪雪の尾花沢市」に新鶴子ダムが及ぼす経済効果は倍増し、計り知れない最良な財産を将来の子供たちに引き継ぐことになる。市長の見解はどうか。

**A** この結果、今年度において、12月1日から事前放流が行われ、2月28日までは毎秒3.8tを基本に、3月1日からは毎秒3.0t、3月21日から31日までは毎秒4.5tが放流される計画になっている。これにより、ダム施設(各頭首工など)における非灌漑期の維持管理用水の活用を図ることが可能となり、一定程度の成果が得られたのではないかと考えている。



花笠の湯



鶴子頭首工

## 心を育むブックスタート 事業の拡充を



小関 英子議員

**Q** ブックスタート事業は、市民税務課、健康福祉課、社会教育課が連携して行われている事業である。未来を担う子供たちの「心」を育む事業の拡充の考えはあるか。

**A** 出産祝品の一環として絵本を贈呈しており、26年度から3冊に拡充した。6か月健診後に、ボランティアが保護者に「赤ちゃんへの読み聞かせのやりかた」を実演指導している。

**Q** 食物アレルギーに対応して、健康福祉課、教育指導室、消防署な

どでは連携しての対策が図られているか。

**A** 近年、アレルギーを持つ乳幼児や児童が増加している。健康で安全な生活を送るための取組みが重要になっている。消防署は関係各課と連携し情報の共有を図っており、救急講習会も開催している。

**Q** 除雪ボランティアセンターを中心に行われている除雪ボランティア事業に、日常的に行う除雪ボランティア活動にも拡大してはどうか。

**A** 除雪ボランティアは、尾花沢中学校から作業先を紹介してほしいという形ではじまり、雪かき塾、宮沢地区互助による地域除雪、鶴子と福住町との災害相互協定に基づく除雪ボ

ランティアなどが図られ、24年に社会福祉協議会内に除雪ボランティアセンターが設置された。昨年度の除雪ボランティア活動は、計8回にわたり、要援

護者宅77軒の除雪を行い、参加者総勢644名、うち12名が市外からの参加となっている。現在、除雪ボランティアセンターを中心にホームページなどで参加者募集の広報を行っているが、参加者は少数にとどまっている。今後、ホームページや市報などを積極的に活用し、より多くの方に参加いただけるよう周知広報していきたい。



おぼね雪ほり隊

## 流雪溝整備計画の 今後の進め方について



加藤 克彦議員

**Q** 山形-羽田線の朝夕2往復の増便により、銀山温泉及び観光誘客増の対策はどうか。

**A** 山形県への来客も確実に増加するものと見込んでおり、6月からスタートする山形ディスタイネーション・キャンペーンとの相乗効果で本市への観光客の誘致にも取り組んでいきたいと考えている。

**Q** 6次産業化の取り組み状況と開発施設設置とアドバイザー配置を考えてはどうか。

**Q** 流雪溝整備計画の今後の進め方と用水の調査状況はどうか。

**A** 流雪溝整備については、各地区から多くの要望や請願が出されている。これまでは、地区民や関係機関の協力をいただきながら、水源や水量、勾配の問題など、課題を解決した所から、順次、国の社会資本整備総合交付金や過疎債などを活用し、整備を進めてきている。

**Q** 第6期高齢者保険福祉計画及び第6期介護保険事業計画を27年度に策定する予定だが

今後の介護施設の整備計画をどのように進めていくか。

**A** 介護保険者の役割として、これまでの尾花沢市の介護保険サービス利用状況、給付実績などを詳細に分析し、課題の整理を行い、今後の方策などについて検討する。また、今後の人口推移を予測し、さらに、制度改正に伴う新たな施策の展開などにより、今後3か年における適切な介護サービス見込み量などを把握し、3か年の保険料を設定する。



銀山温泉のテイクアウトフード

## 花笠の湯などの指定管理者について



武田 佳久議員

**Q** 「花笠の湯」のこれまでの実績を見てみると、「管理経費の縮減」や「民間事業者の発想」によるサービス向上

などの指定管理制度本来の目的が達成されているとは思えない。この点について市長はどのようにお考えか。

**A** 徳良湖温泉「花笠の湯」の「住民サービスの向上」については、㈱ふるさと振興公社により、地域住民との連携による施設運営、地元農産物を活用した食材の提供、花笠踊りなどの伝統的芸能の活用による賑わいづくりな

ど、施設の魅力向上に努めてきたところである。

また、管理経費についても、当初は予想し得なかった重油代の著しい高騰にあっても、従業員体制の見直しなど経営努力を行ない、施設の管理運営にあたってきた。

**Q** 運営改善に向けた具体的な計画や、昇給などの待遇改善策が示されない状況の中で、「花笠の湯」が指定管理の更新時期を迎えるが、市民の期待にこたえるため、どのような運営を行っていくのか。

**A** ㈱ふるさと振興公社の運営について、平成23年度に外部有識者、市民代表を含む「花笠高原施設等運営検討委員会」を立ち上げ、花

笠高原施設、徳良湖周辺施設、徳良湖温泉について運営改善に関する検討を行った。

1. 施設を廃止するのではなく、どうすれば施設を継続できるのか。
  2. これまでの運営形態にこだわらず持続可能な運営方法に大胆に見直す。
  3. 補助事業による施設設置目的との整合性を図る。
- ことを基本方針とした「花笠高原施設等運営改善案」に沿った改革を進めている。



## ふるさと振興公社の 経営改善を



青野 隆一議員

**Q** 2年連続で債務超過(資産をすべて売却しても、負債を返済できない状態)となっている(株)ふるさと振興公社に対し、どのような経営改善が必要と考えているか。

**A** 平成24年度より「ふるさと振興公社運営検証委員会」を設置し、運営の見直しを図ってきた。今後は経営の改善に努めていきたい。

**Q** 公社社員の減少や厳しい給与事態をどう受け止め、今後どのようにして雇用の確保や待遇改善に努めるのか。

**A** 平成18年度の正、准社員70名から、平成24年度には58名に減らす一方で、地域の方々を積極的にパート採用している。雇用の確保と待遇改善するために、まずは健全経営を目指していく。お客様アンケートなどでニーズの把握と利用しやすい施設への改善を進めたい。

**Q** 来年度多くの指定管理の更新期を控え、検証評価を行うとともにガイドラインを定める考えはないか。

**A** 指定管理者制度の趣旨である「住民サービスの向上」を勘案し、評価検証に関する制度について検討する。近隣自治体のガイドラインなども研究し、適正運営ができるよう見直しを図る。今後も、四

半期ごとに検証委員会を開催し、公社経営の効率化を図りたい。

**Q** 3年後に全国中学校スキー大会が山形県で開催される。激減するスポーツ少年団の育成をどう考えるか。

**A** 尾花沢スキー選手権では、10年前31団体36名の参加者が、今年は18団体158名と減っている。来年度早々に保護者や指導員との話し合いを持ち、子供たちがスキーを続けていく環境づくりを一緒に考えたい。



市民ラングライフ大会

### 子供や孫の世代に負担を残さない財政運営を



星川むつ子議員

**Q** 社会保障費などの経費が増えているのに、人口は減少している。こうしたなかで、基金(貯金を殖やし、公債費(借金を減らす努力をして、将来世代に負担を残さないよう財政運営してもらいたい。次の各点について問う。

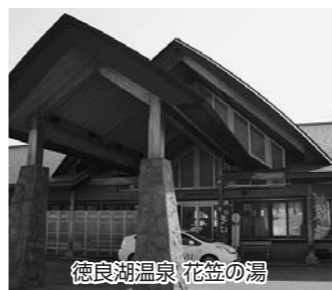
1. 公債費比率が高いが、どのように取り組むか。
2. 減債基金の増強が年間たつた千円である。財政調整基金も、もつと計画的に積立するよう要望する。
3. 臨時財政対策債は、本来国が交付するべき

**A** 金を地方自治体の借金にしているもので、負担を先送りしているに過ぎない。ただちに止めるよう国に要望すべき。

**A** 1. 新鶴子ダムの償還金(返済)が27年度で終了するので漸減するが、防災行政無線や新庁舎建設など、若干増加すると想定される。2. 新庁舎建設基金積立が必要のため、減債基金の増強は難しい。財政調整基金は取崩した分のつめ戻しを優先している。

3. 国の財源が不足していることから生じている。後年度100%国から交付されるが、地方債である。動向を見極めて対応したい。

**Q** 徳良湖温泉「花笠の湯」について。市は



徳良湖温泉 花笠の湯

**A** 「花笠の湯」は、交流人口200万人を目指す本市にとって、なくてはならないものになっている。26年度から指定制料として40万円を払い、これまで以上に市民から愛される施設運営を目指す。

達成できそうにない計画を立て、その責任を備ふるさと振興公社に押し付けているのではない。市民は市外の方と同じ利用料を払い、さらに多額の税金を投入し、それでも赤字というのはどういふことか。市民の利益を最優先に考えて、廃止を含めた抜本的改革を考えなければならない。

### 加藤市長の2期目への決意は



菅野 修一議員

**Q** 昨年末の不祥事件で大きく揺らいだ市政への信頼を回復するため市長の政治姿勢を改めて伺いたい。

**A** 昨年末の虚偽公文書作成による不祥事については、市民、関係各位の皆さまに多大なるご心配とご迷惑をおかけしたことを改めて心よりお詫び申し上げます。二度とこのような事態が起こらぬよう自らを律し、規範・規程の遵守を全職員とともに決意しながら、元気で迅速かつ丁寧な行政サービスの提供に努めていきたい。

**Q** 市政とは一部市民のためのものではなく、市民一人ひとりのために清潔で血の通ったあったかいものでなければならぬ。市長の政治信念の原点に立ち返り、再度市政を担おうとする決意を伺いたい。

**A** 平成22年8月の市長就任以来、「尾花沢を元気にしたい」との強い思いで、市政をお預かりし、市民の皆さまとともに市勢発展のため力を尽くしてきた。「夢」と愛着もてる尾花沢市を実現するため、今後とも市政運営に力を注いでいく。



村山市内のバイオマス発電所

するバイオマス産業都市の指定を受けて、森林資源を活用したまちの活性化を図ってはどうか。

**A** 市内への企業誘致は、合板や集成材工場も含め広い業種で、本市への立地を強く望んでいるところである。新年度より企業対策専門員も配置されるので、企業の実情や生産状況などの情報収集に努めながら、対応していきたいと考えている。

### いじめによる自殺を防ぐために



石塚ミツ子議員

**Q** いじめにより命まですくなる状況が起きている昨今、本市の小中学校のいじめの実態はどうか。

**A** 定期調査によると、1件の報告があり、保護者とも相談し指導している。日常生活ではさまざまトラブルはあるが、誠実に対応している。

**Q** 子供がいじめに走る原因は何だと思つか。その原因を取り除くための施策はどうか。

**A** 関わりが苦手、優劣判断などの学校生活に起因するもの、満たされない環境、放任や

**Q** 命を守るための学校でいじめ把握とその解決策の取組みは。

**A** 学校でできる第一のことは、満足感のある授業の実践である。また、早期発見、早期対応に努めている。

**Q** 国保税25年度の値上げに引き続き、26年度も値上げが必要かもしれないとの説明があったが、負担も限界。値上げを抑える施策はないのか。

**A** 厳しい国保財政運営を余儀なくされており、国庫負担割合の引き上げや低所得層に対

する負担軽減策の拡充について、重要事業の一つとして、議会とともに国に要望している。

**Q** 総務省、消防庁は大地震に備え、消防団員確保のため報酬3万6千500円支払うよう通知があったと思うが、引き上げの考えはないのか。

**A** 普通交付税の算定においては、本市の規模では170人の消防団員が交付基準になっている。本市の消防団の年額報酬は規則および条例に基づき、定められている。25年4月1日現在、消防団員数は71人、交付税算定上の数を大きく上回っている。また、額については一般団員1万7千円となっており、交付税の需要額を大きく上回っている。

### 市内企業の現状について



奥山 格議員

**Q** 市内で経営が大変厳しい企業があると聞いているが、現状を把握しているか。

**A** 市では、尾花沢市中小企業振興資金において、運転資金や設備資金に対し、独自に利子補給や保証料補給などを行っている。また、県の商工業振興資金などについても説明しながら、引き続き経営改善に向けた支援を行っている。

**Q** 市内に事業所を有する企業の早期退職者に対し、本市として再就職支援に取り組む考えはないか。

**A** 市で開設している雇用相談窓口を利用していただきながら、退職者の再就職が早期に図られるよう取り組んできた。今後も、求人状況などを把握し、きめ細かな対応を行っていききたい。

**Q** 宮城県大衡村や大和町のトヨタ企業の東北現調化センターでは2次3次の取引先を模索しており、市内企業がこれに関与できるような取り組みが必要だが、今年度と来年度の計画はどうか。

**A** 製品の精度や生産管理が求められることから、取引を行うにあたっては受注を受ける企業側の、トヨタ生産方式に沿った経営改善が必要になってくると聞いている。

トヨタ自動車関連のサプライヤーとなっている企業の取り組み状況などを、専門員と共に企業訪問を通じて情報提供しながら、市内企業の受入れ態勢づくりに取り組んでいく必要があると考えている。

**Q** 本市ではクロスカントリースキーが盛んであり、今冬も目覚ましい活躍をしているが、昨今の少子化が進む中、今後のスポーツの振興策についてどのように考えているか。

**A** 長根山運動公園は、初級から中級レベルのクロスカントリースキーコースとして位置付けており、各スポーツの練習場、スキー大会などの各種大会の開催場所として、さらには一般の方々も利用できるコースとして整備していきたい。

議

会

目

誌

### 公約は市民への約束



菅根 光雄議員

**Q** 新鶴子ダムの最終償還額はどれほどになるのか。今後の投資的事業費の推移の見通しは。

**A** 最終年度の償還額は4億5千200万円となる。償還対策基金の残高が2億200万円あるので、償還金に繰入れ可能である。今後、新庁舎建設事業や防災無線整備事業が大きなものになる。

**Q** 「元気の尾花沢」を目指す新年度の特記すべき事業は。

**A** 「企業対策専門員の配置」「トップセールスの実施」「居住空間無

雪化支援事業の創設」などであり、7本の柱に沿って重点的に予算配分した。

**Q** 市長は「退職金を見直す」と「農業産出額110億円を目指す」と公約したが、どのようになっているのか。公約は市民への約束ではないのか。

**A** 退職金は山形県市町村職員退職手当組合の条例により支給率が定められており、変更可能か協議する。農産物生産額は、24年度86億5千800万円であり、20年度に比較して3億3千万円ほど減っている。今後とも6次産業化や後継者支援対策などを実施して、農業施策の展開を図る。

**Q** 国道37号線通年通行に向け、除雪体制の

強化を望むが、その計画はどうか。

**A** 山形県は26年度から試験除雪を行い、万全を期したいとしている。試験除雪を踏まえて、必要な雪崩箇所を把握し、対策を講じていく計画であると聞いている。十分な対策を講じるよう、強く要請していく。

**Q** 消費税3%アップで市の財政負担はどれほど影響があるのか。商店街での購買力が落ち込む心配はないのか。

**A** 影響は少なからずあると考えているが、プレミアム商品券の発売やにぎわいまつりの開催など、魅力ある商店街づくりに努めたい。

## 予算特別委員会

## 分科会委員長報告

### 第1分科会 (総務文教)

徳良湖周辺の桜管理業務委託料について、一部の桜で雪による倒伏や枯損しているものが見受けられるため、良好な維持管理とともに、徳良湖周辺の干本桜構想が着実に実行されるよう計画的な取り組みを要望しました。消防団の組織再編や予備消防団員の定員拡充などさらなる機能強化が図られるよう要望しました。

### 第2分科会 (市民厚生)

路線バス内に市観光地の広告物を置くなど、DCキャンペーンに対応したPRに努められるよう要望しました。バイオマスエネルギーの地産地消に向けて、先進地の例を参考とした木質バイオマスの検討や、牛糞対策などの観点からの畜産バイオマスについて前向きな調査研究を要望しました。

### 第3分科会 (産業建設)

新規就農者、農業後継者対策は重要な課題であるため、今後も推進して取り組むよう要望しました。人農地プラン作成率について、現在100%近い数値に到達しています。4月以降も農地中間管理機構と連携を密にし、継続して農地集積事業に取り組むよう要望しました。稲わらの収集状況について自給率向上に努めることを、稲発酵粗飼料の利用拡大を図ることを、要望しました。

平成26年度に開設予定の福原小学校放課後子ども教室について、安全な管理運営が図ら



火災防災

銀嶺荘について、指定避難所として適切に施設管理を行うとの説明を受けましたが、高齢者のコミュニケーション施設として、本来の目的にあった活用がなされるよう要望しました。



休館中の銀嶺荘

「ふるさと振興公社」の運営状況、今後の事業計画などについて平成26年度以降の指定管理



人・農地プランの策定風景

- 1月
  - 6日 市民賞授賞式
  - 8日 市民新春祝賀会
  - 8日 産業建設常任委員会
  - 10日 全員協議会
  - 17日 市民厚生常任委員会
  - 20日 産業建設常任委員会
  - 21日 建設業協会新春祝賀会
  - 21日 全員協議会
  - 22日 総務文教常任委員会
  - 22日 基本条例検討委員会
  - 27日 市民厚生常任委員会
  - 27日 1月臨時会
  - 29日 庁舎建設検討委員会
  - 30日 山形県後期高齢者医療広域連合
  - 30日 26・27年度予算説明
  - 30日 第61回全国市議会事務局職員研修会
  - (東京都) (31日)
- 2月
  - 2日 第39回女性のつどい
  - 6日 全員協議会
  - 7日 議会基本条例検討委員会小委員会
  - 7日 市民厚生常任委員会
  - 8日 雪灯籠づくり
  - 8日 第39回尾花沢雪まつりオープニングセレモニー(9日)
  - 12日 尾花沢小学校優良PTA文部科学大臣表彰受賞記念祝賀会
  - 12日 特別交付金 要望活動(東京都)
  - 14日 第1回尾花沢市一周駅伝大会役員委嘱・実行委員会
  - (寒河江市・朝日町)
- 3月
  - 4日 都市計画審議会委員委嘱状交付
  - 9日 第43回都市計画審議会
  - 9日 全員協議会
  - 9日 産業建設常任委員会
  - 20日 市民厚生常任委員会
  - 25日 全員協議会
  - 4日 3月定例会(4日~18日まで)
  - 9日 消防訓練
  - 20日 北村山広域行政事務組合議会運営委員会
  - 26日 北村山広域行政事務組合議会
  - 27日 北村山公立病院例月出納検査



今年も議員全員で雪灯籠作りに参加



# 広域組合議会の報告

## 北村山公立病院組合議会

3月24日に3月定例会が開催され、平成26年度事業会計予算や組合を構成する3市1町の負担額など5議案を原案通り可決、人事案件1件に同意しました。年間患者数を入院9万4千900人、外来11万3千460人を見込み、病院事業収益53億3千152万円、病院事業費用57億8千48万円としました。主な支出としては、高圧蒸気滅菌装置の購入やナースコール更新工事などです。

また、人事案件として、3月末日で退職される寒河江賢一事務局長の後任として、東根市総務部付部長の清野敬信氏の選任について同意しました。

市町名	負担金	実質負担金
尾花沢市	6,914万円	2,593万円
大石田町	4,546万円	1,666万円
村山市	1億9,800万円	7,198万円
東根市	2億5,623万円	9,420万円

実質負担金は普通交付税分を抜いた金額

8千194万円で大石田町1億8千610万円となっています。

し尿処理施設整備事業の概要については、稼働開始から36年が経過し、老朽化したし尿処理施設の整備を、平成28年度完成に向けて、今年度から工事に着手します。ほかに新白鷺処分場について、並びに特別環境保全公共下水道の規約について説明がありました。



新白鷺処分場は、第5堰堤防工事により、今後10年間の延命化が図られる

## 北村山広域行政事務組合議会

3月26日組合議会が開催され、26年度の予算と主な事業が可決されました。

主な事業は次の通りです。  
①センター開所40周年記念事業として、記念誌を発行する。センターまつりの充実を図る。  
②皆既月食の観測会を実施する。老人クラブなど高齢者団体にプラネタリウムを活用してもらう。

市町名	負担金(円)	負担割合(%)
村山市	29,722,000	30.63
東根市	34,215,000	35.27
尾花沢市	21,987,000	22.66
大石田町	11,097,000	11.44



好評のプラネタリウム

## 議会基本条例検討委員会委員長報告

### 市議会基本条例は、さらに調査・検討を

委員長 大類 準一

3月20日、組合議場で3月定例会が開催され、平成26年度一般会計予算、公共下水道事業特別会計予算、水道事業会計予算、給水道事業会計予算の一部を改正する

議会基本条例については、これまで議会運営委員会で先進地の視察調査を行ってきた。議員全員で研修しながら、検討を行っていただくため、平成25年7月24日、「尾花沢市議会基本条例検討委員会」を設置しました。平成25年8月、12月には、すでに議会基本条例を設けている大石田町議会、村山市議会に出向き、基本条例について研修を行いました。



この研修後、2回にわたり検討委員会では問題点や課題について意見交換を行い、尾花沢市議会の考え方を整理してきたところで、議会基本条例は、議会の基本理念、議会運営の原則、議員の責務及び活動原則などを定めるもので、まさしく議会の基本的事項を明らかにするものです。また、具体的活動として、市民との議会報告会や市政に対する政策提言などが挙げられています。



今後、議会基本条例に限らず、議会運営の在り方について、いろいろな機会をとらえ研修・検討し、市民のみなさまの意見も聞きながら、よりよい尾花沢市議会の運営について努力していかねばなりません。

## 議会だより編集委員会で先進地視察

2月14日、議会だよりだけでなく、議会報告会の実施など先進的に取り組んでいる寒河江市と朝日町を訪問しました。

### 寒河江市

議会基本条例の策定以降に、議員が制作の8割、2割を事務局が分担しています。毎回3〜4回の編集会議を経て、事務局が印刷所へデジタルデータを入力し、校正の段階でも協力しています。さらに、次回の定例会の日

### 朝日町

議会基本条例は策定していないが、議員全員が参加し、4班に別れて議会報告会を行っ

ています。平成25年度は、定例会の報告、議会に対する意見徴収など各集落16地区に出向くとともに、その結果をまとめた特集号も発行しています。広報活動を大変重要視したスタイルの斬新さに深く感じました。

本市でも、文字を大きくしたり、議員の表情を臨場感ある写真にしたり、審議の賛否表を明記するなど、市民の目線にそった紙面づくりに努めていきます。

議会だより編集委員長 塩原未知子